

特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報（事後公表）

【担当課：政策企画室広報担当】

議 題	大阪市の広報について（改善に向けた意見聴取）
日 時	令和 6 年 6 月 24 日（月曜） 9 時 30 分～10 時 20 分
場 所	大阪市役所本庁舎 5 階秘書課会議室
出 席 者	(特別顧問・特別参与)： 清水特別参与、寺本特別参与 (職員等)： 政策企画室（市民情報部長、広報担当課長 外）
論 点	令和 7 年度企画広報案について
主 な 意 見	（令和 7 年度企画広報案について） ・来年度の取組として、大阪・関西万博の開催に合わせて、市内の施設やイベント情報を若年層や来阪者に向けて広報してみてはどうかということだが、観光的なプロモーションは別の部署でも多額の予算をかけて実施すると思うので、広報の立場で別の切り口から考えた方がいいのではないか。 ・予算規模にもよるが、生活により密着した、くらしに役立つ情報を、大阪市ならではのルートを用いてターゲットに着実に届ける取組をしてみてはどうか。例えば、若年層や学生がターゲットであれば、学校経由や成人式など。 ・媒体は、やはり学生は TikTok や YouTube ショートを日常的に利用しており、短時間でリアリティやドキュメント性を求める動画系の SNS は年々伸びている印象。 ・予算や取組方法など課題はたくさんあると思うが、やはり万博開催で内外から注目を集めるこの時期に、積極的に大阪の取組や魅力を発信していくべきで、メディア選定も重要であると思う。 ・例えば、発信力のある万博ボランティアの方達に大阪の魅力、大阪の推しを発信してもらう企画など、参加型キャンペーンのように情報発信する仕組みづくりに注力してみてはどうか。 ・最近のトレンドとしてタイパ（タイムパフォーマンス）というキーワードが注目されており、自分の時間を無駄にしたくないという思いが強い。 そういった観点では、大阪市のさまざまな施設情報をひとまとめでした網羅性のある情報を発信することができれば、需要があるかもしれない。
結 論	本日の助言を踏まえ、改善に向け検討を進める。
説 明 等 資 料	
備 考	
関 係 所 属 （ 部 課 ）	政策企画室市民情報部広報担当